

第3節 歴史・文化環境

当市の歴史・文化環境について、事業所がどのように考え、取り組んでいるのかを尋ねました。

1. 事業所の歴史・文化に対する考え方

事業所の歴史・文化に対する関心、実際の取り組みについて、「文化遺産は保存しておきたい」「松阪市の歴史や文化に関心がある」「地元の歴史や文化を大切にしている」などで、「はい」と答えた事業所が60%以上と高い結果となりました。

具体的な取り組みとしては、「地域の祭りや行事に積極的に参加する」と回答した事業所は、40%を超える一方で、「地元の歴史を学んでいる」「事業所の歴史・文化に対する活動は活発だ」「文化遺産の発掘に力を入れている」では20%以下となりました(図21参照)。

また、歴史・文化環境の活性化や景観作りに関する意見・アイデアとして、「松阪城の再建」「駅前活性化」など、多くの意見が寄せられました。

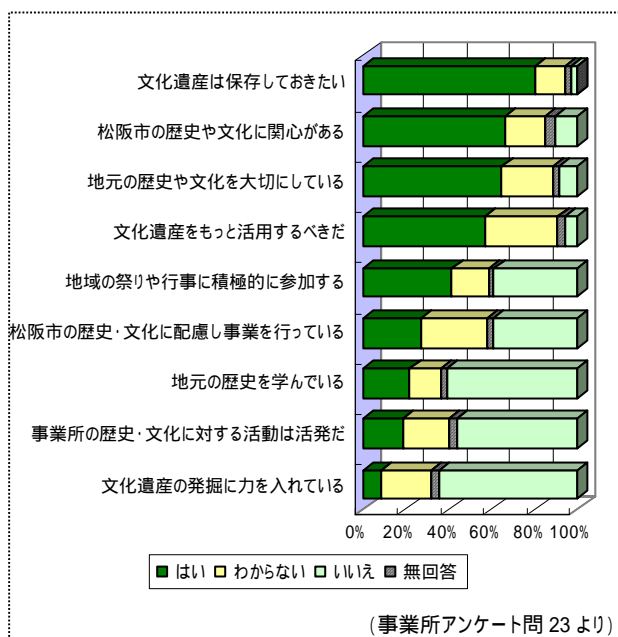


図21 歴史・文化環境に対する関心

2. 業種別の取り組み状況

歴史・文化活動に対する具体的な取り組みについて、業種別に比較しました。特に注目すべきは、「教育機関」であり、「事業所の歴史・文化に対する活動は活発だ」「地元の歴史を学んでいる」「文化遺産の発掘に力を入れている」の項目においても、「はい」と回答した割合がいずれも高い結果となりました(図23参照)。

また、「従業員の環境教育の推進」という項目においても、「教育機関」は「取り組んでいる」と回答した割合が他の業種に比べ高いことがわかりました(図22参照)。

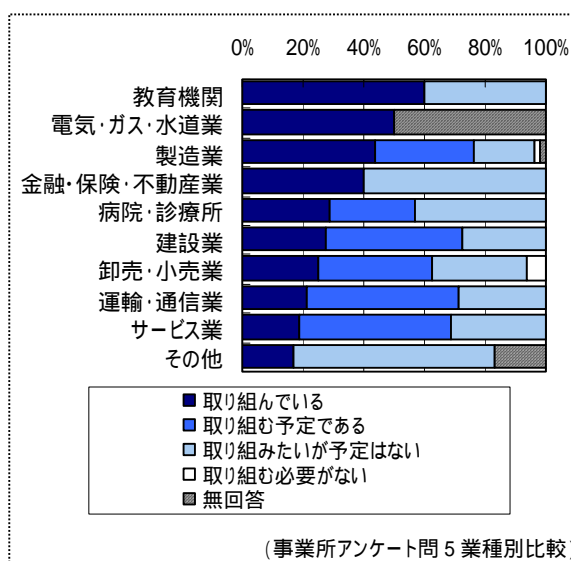


図22 「従業員の環境教育の推進」への取り組みの業種別比較

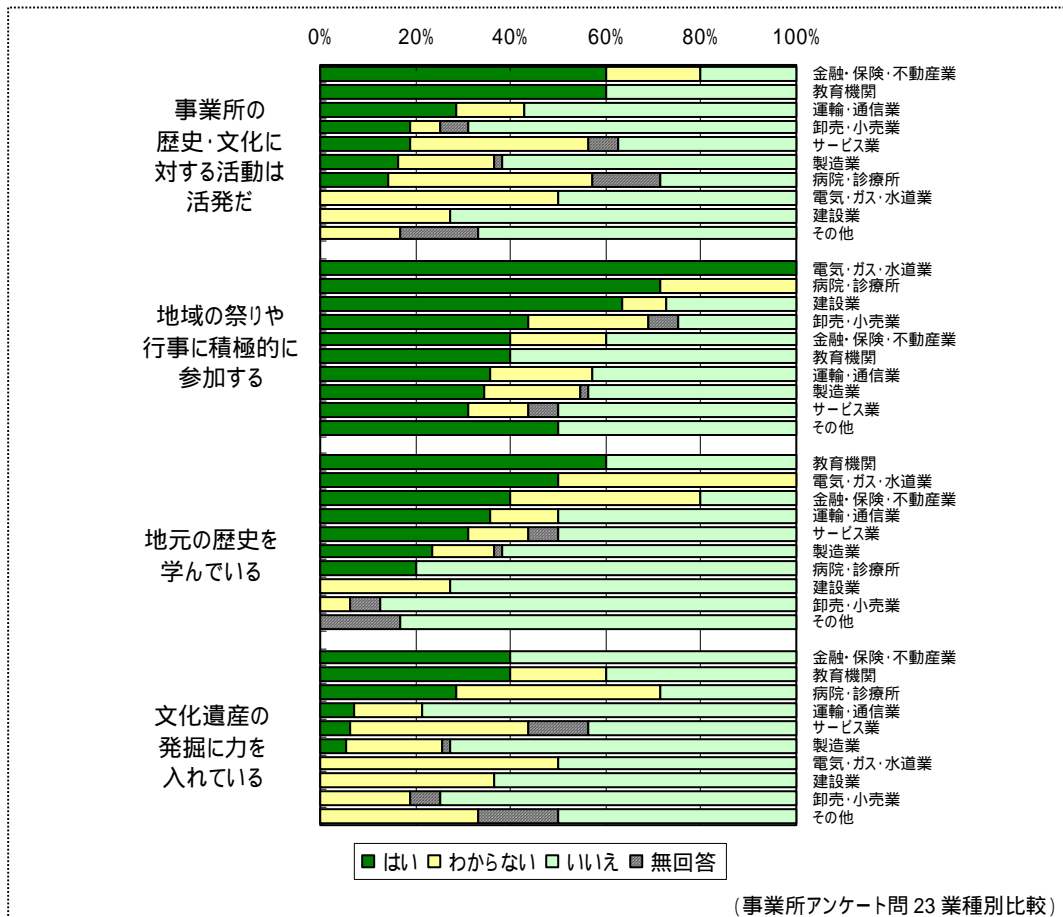


図 23 業種別における歴史・文化に対する取り組み

3. 地域別の取り組み状況

地域別にみると、「地元の歴史や文化を大切にしている」という問いに対して、市街地、山間部、平野部では、他の地域より「はい」と答えた事業所の割合が高い結果となっています。これに対し、中核工業団地では、「わからない」が57.1%となっており、また、大規模な事業所が多くある海岸部においても「わからない」と答えた事業所の割合が33.3%となりました。これらの地域では、他地域と比較して大切にしているかどうか判断することに苦慮している事業所が多いことがうかがえます(図 24 参照)。

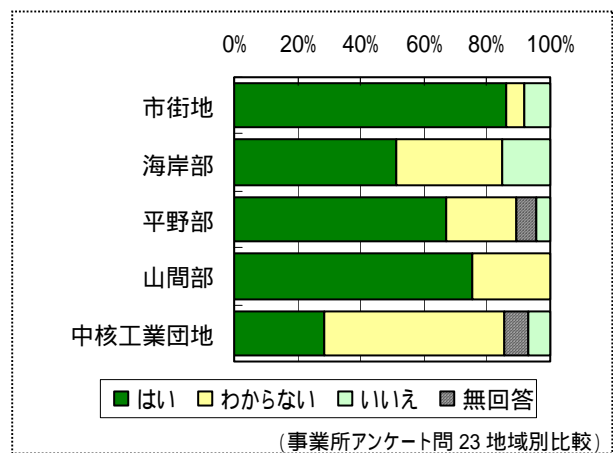


図 24 「地元の歴史や文化を大切にしている」
についての地域別比較

まとめ

多くの事業所は、当市の歴史・文化に関心を持ち、高く評価していることがわかりました。また、具体的な取り組みとしては、歴史・文化を学んだりするよりも、地域の祭りや行事に参加する事業所が多いことがわかりました。

業種別では、特に「教育機関」が当市の歴史・文化を学び、活動していることがわかりました。「教育機関」では、従業員に対する環境教育を重視しており、環境教育を推進するうえで、当市の歴史・文化は重要な要素として受け止められているようです。

この歴史・文化を、誇りに思い、大切にすることは、いかに身近に歴史・文化を感じとれたかにより、事業所間で差が生じてくるようです。

キーワード

身近な歴史・文化財
地域との交流